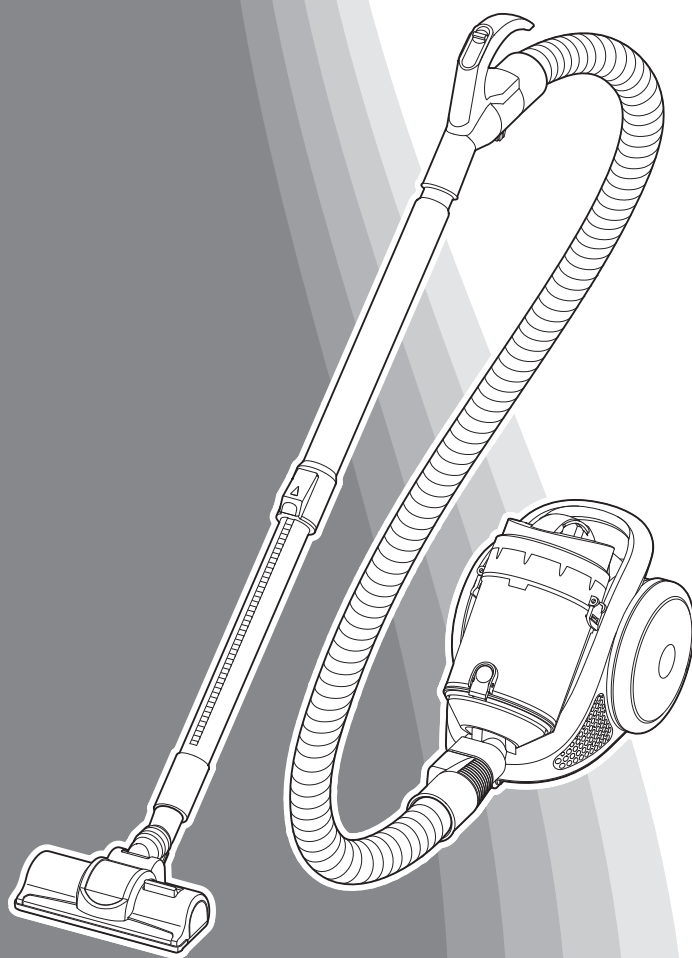


ペット用サイクロン クリーナー PCC-100CTK

取扱説明書



もくじ

ご使用の前に

安全上のご注意	2
使用上のお願い	4
各部の名称	5
ご使用前の準備	6

掃除のしかた

使いかた	7
収納のしかた	9

掃除のあとに

ゴミの捨てかた	10
お手入れのしかた	11

こんなときには

故障かな?と思ったら	14
仕様	15
保証とアフターサービス	15

この商品は、海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

- このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用の前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずにお守りください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味



してはいけない「禁止」内容です。



しなければならない「強制」内容です。

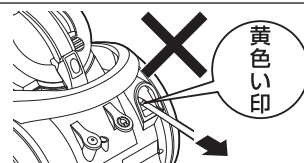


警告



禁止

- 本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない
- 水まわり、風呂場など湿気のある場所での使用は絶対にしない
ショート・感電・故障の原因になります。
- 絶対に分解・修理・改造はしない
発火・ケガ・異常動作の原因になります。
- めれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・ケガの原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
発火・ショート・感電の原因になります。
- 電源コードは黄色い印以上は引き出さない
電源コードが断線したり接続部が破損し、火災・感電の原因になります。



- 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて通電したりしない
- 電源コードを高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

- 灯油・ガソリン・シンナーなどの引火性のあるもの、火の気のあるもの、トナーなどの可燃性のものを吸わせたり、そばで使わない
火災の原因になります。



必ず実施

- 異常・故障時にはすぐに使用を中止する
 - ・スイッチを「ON」にしても運転しない
 - ・運転中ときどき止まる
 - ・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする
 - ・本体が変形したり、異常に熱い
 - ・こげくさい「におい」がする
 - ・運転中に異常な音がする

発煙・発火・感電のおそれがあります。すぐにスイッチを切り、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはアイリスコールへ点検、修理を依頼してください。

警告

 必ず実施	●電源は交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使う 火災・感電の原因になります。
	●電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付いているときは、乾いた布でよくふき取る 湿気などで発火・絶縁不良の原因になります。
	●電源プラグはコンセントの奥まで確実に差込む 発火・ショート・感電の原因になります。

注意

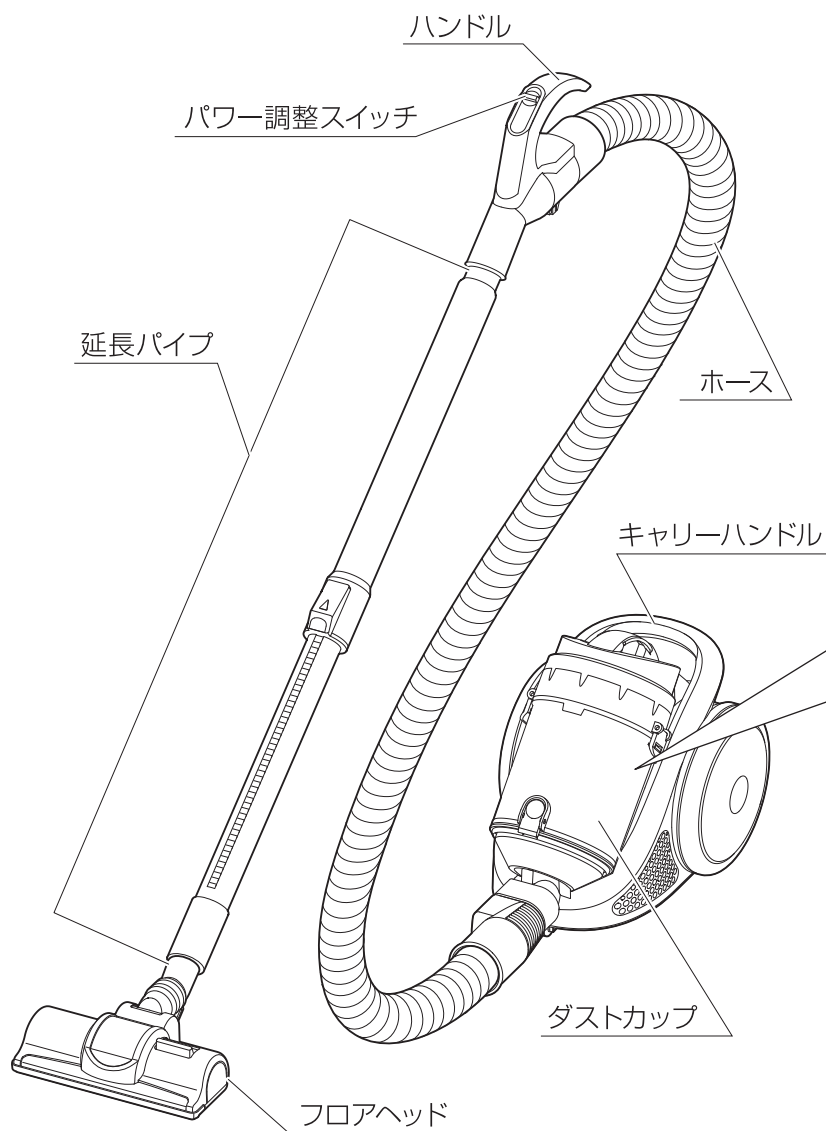
 禁止	●火気に近づけない 本体・電源コードなどの変形によるショート・発火の原因になります。
	●吸込口をふさいで長時間運転しない ●排気口をふさがない 過熱による本体の変形・故障・発火の原因になります。
	●破れたり、破損したフィルターは使わない 故障・性能低下の原因になります。
	●本体にはのらない。子どもには遊ばせない ケガや本体破損の原因になります。
	●ホースは踏んだり、無理に曲げたりしない ホース破損の原因になります。
	●運転中にコード巻取りボタンやダストカップ取外しボタンを押さない ケガや本体破損・故障の原因になります。
 必ず実施	●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く 電源コードが断線し、発火・ショート・感電の原因になります。
	●電源コードは、まっすぐ引き出す 電源コードが本体引き出し部とこすれて破損し、発火・ショート・感電の原因になります。
	●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く 絶縁劣化による漏電により、火災・感電の原因になります。
	●持ち上げるときは、必ずキャリーハンドルをもつ 本体が落下して、ケガや床にキズがつく原因になります。

使用上のお願い

- この掃除機は室内用です。屋外では絶対に使わないでください。
- 本製品は家庭用掃除機です。業務用には使用しないでください。また、清掃以外には使用しないでください。
- 電源コードは黄色の印以上は引き出さないでください。
- 次のようなものは吸わせないでください。フィルターが目詰まりや故障の原因になります。
液体・湿ったゴミ・粉末状のもの・ガラス・針など尖ったもの・砂類
- 多量のゴミ・大きなゴミ・ビニール類は集中して吸わせないでください。吸込力の低下やホースの詰まりの原因になります。
- フロアヘッド・すきまノズル・ハンディ毛取りノズルを床・壁・家具などに強く押し付けしないでください。本体を無理に引張ったり、柱・壁・家具などにぶつけないでください。キズがついたり破損する原因になります。
- ダストカップ内のゴミは「ゴミすてライン」以上になる前に捨ててください。
- フィルターは専用のものを正しく取り付けてください。
- 穴があいたり、キズがついたホースは使わないでください。

各部の名称

■本体



ダストカップ構成部品



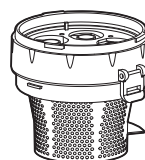
ダストカップ蓋



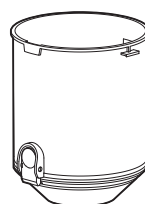
排気フィルター



スポンジフィルター



サイクロンユニット



ダストカップ受け

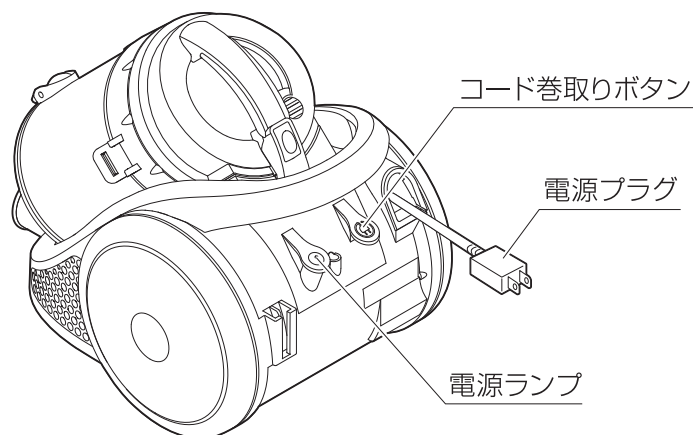
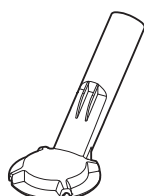
■付属品

背面

すきまノズル



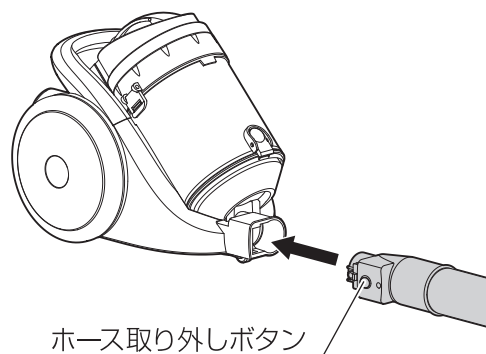
ハンディ毛取りノズル



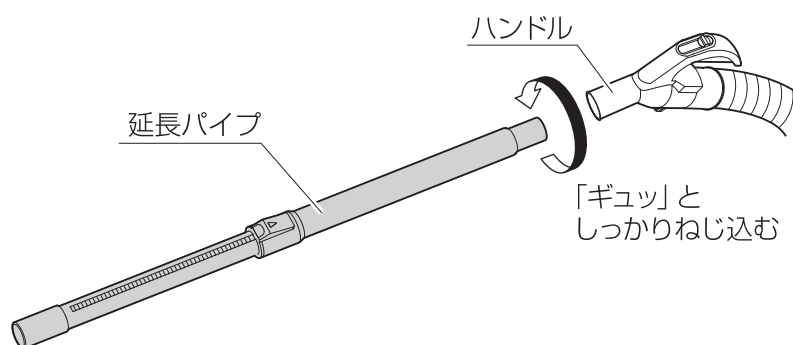
ご使用前の準備

1 本体にホースを接続する

ホースを外すときは、ホース取り外しボタンを押しながら抜きます。

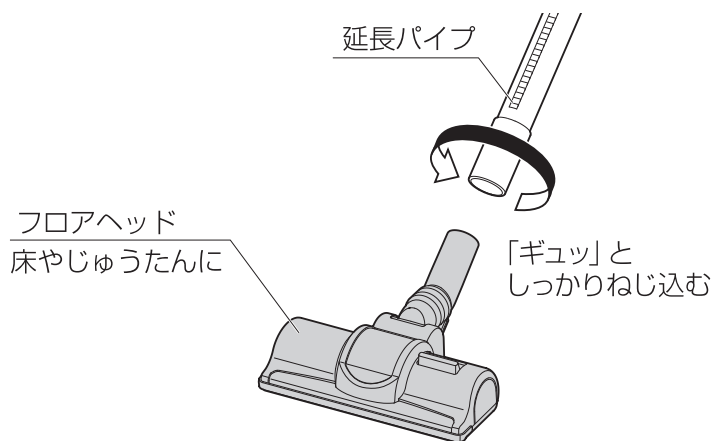


2 ホースに延長パイプを取り付ける



3 フロアヘッドを取り付ける

フロアヘッドを延長パイプに取り付けます。

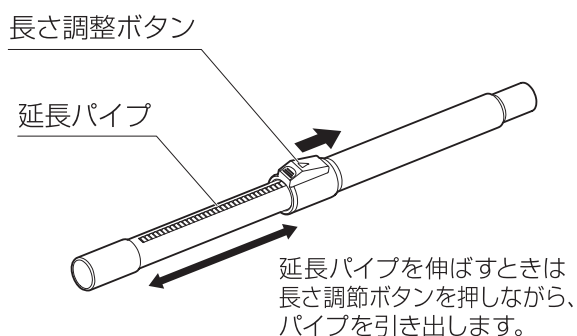


■延長パイプの使い方

※運転中吸い込み口をふさいだ状態で長さ調節ボタンを押さないでください。
延長パイプが急に縮み、怪我をするおそれがあります。

⚠ 注意

- 延長パイプを調節するときは、安定した場所で行なってください。無理な体勢や、不安定な状態で行なうとケガや機器破損の原因になります。



使いかた

■運転のしかた



注意

- 次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。
液体・湿ったゴミ・粉末状のもの・ガラス・針など尖ったもの・砂類
- 多量のゴミ・大きなゴミ・ビニール類は集中して吸わせないでください。
吸込力の低下や詰まりの原因になります。
- フィルターやホースが目詰まりした状態で使用し続けると、モーターが発熱し、安全のために製品の電源が一時的に切れますが、冷えると復旧します。

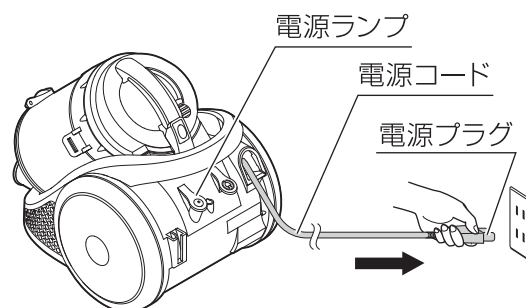
1 電源プラグを差し込み、電源を入れる

電源コードを引き出して電源プラグをコンセントに差し込みます。電源ランプが点灯し、電源が入ります。



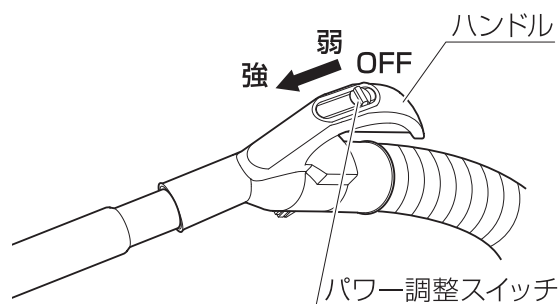
注意

- 差し込みプラグをコンセントに差し込むときは、必ず電源スイッチを「OFF」にしてから差し込んでください。



2 パワー調整スイッチを調整する

ハンドル部分のパワー調整スイッチを「OFF」の位置からスライドします。運転が開始されます。お掃除の種類によってはパワー調整スイッチのスライド量で強弱の調整をしてください。運転を停止する場合は「OFF」の位置に合わせます。



3 電源を切る

パワー調整スイッチを「OFF」の位置に合わせます。その後、電源プラグをコンセントから抜きます。電源ランプが消灯し、電源が切れます。

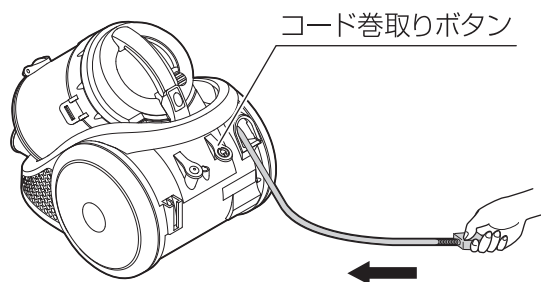
4 電源コードを収納する

コード巻取りボタンを押して電源コードを収納します。



注意

- 電源コードの本体巻取りはプラグを持った状態で行ってください。電源プラグの跳ね上がりでケガをしたり家具などの破損の原因になります。



注意

- 必ず電源プラグを持ってコンセントから引き抜いてください。
- ご使用が終わったら電源プラグをコンセントから抜いてください。接続したまま放置しないでください。
- ご使用後、電源コードはコード巻取りボタンを押して必ず本体に巻取ってください。

使いかた つづき②

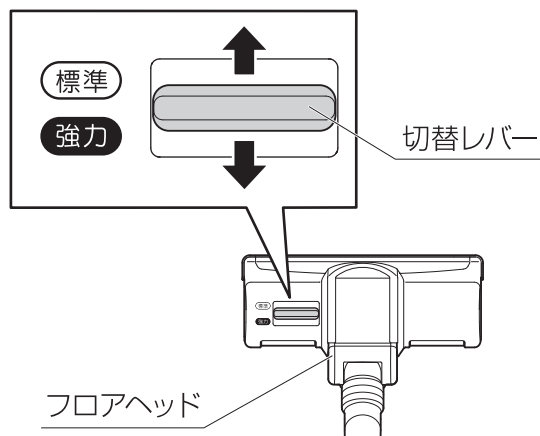
■フロアヘッドについて

<切替レバーの使い方>

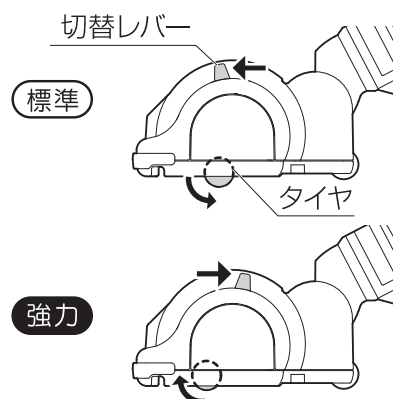
ヘッドの「切替レバー」によりタイヤの上下を調整し、使用シーンに合ったモードを選ぶことができます。

● **標準** モード：フローリング、カーペット、たたみなど、通常の掃除を行うとき

● **強力** モード：吸引力が不足していると感じたときや、カーペット等で取りにくいからんだ毛を掃除したいとき



<横から見た図>

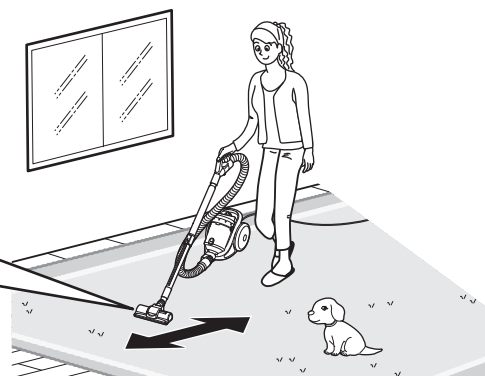
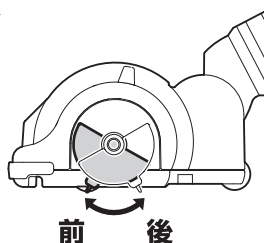


<上手なお掃除のしかた>

フロアヘッドを前後に動かして掃除をしてください。

<フロアヘッド動作イメージ>

フロアヘッドを前後に動かすことで、毛取りブラシが往復し、じゅうたんのゴミを取り除きます。



たたみ、フローリングのお掃除

たたみの目や、板目にそって軽くすべらせるようにお掃除してください。

床やたたみの傷つき防止になります。

※フローリング、たたみでも毛取りブラシは前後に可動しますが、毛取り機能は働きません。
カーペットのみで毛取り機能が働きます。



<切替機能について>

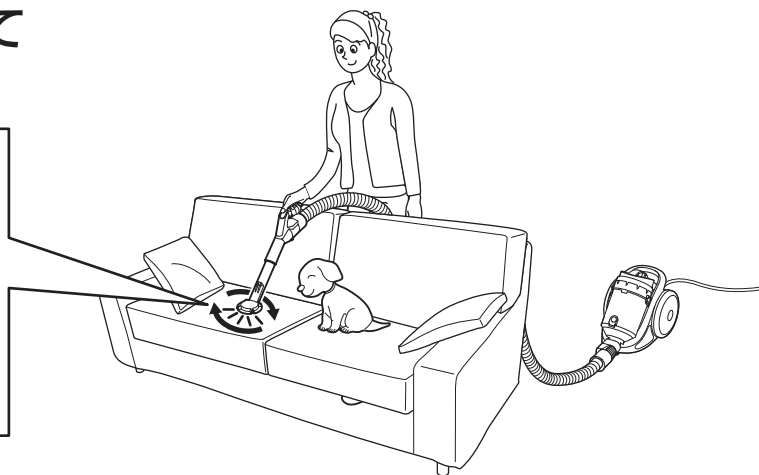
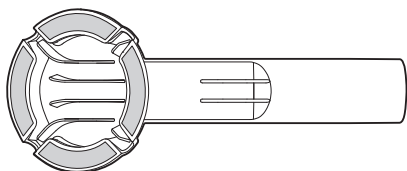
- **標準** モードでご使用の場合、フローリング、たたみ、毛足が極端に短いカーペットでは毛取りブラシは前後に可動しないため、毛取り機能は働きません。
- **強力** モードでご使用の場合、フローリング、たたみでも毛取りブラシは前後に可動しますが、毛取り機能は働きません。カーペットのみで毛取り機能が働きます。

使いかた つづき③

■ハンディ毛取りノズルについて

ハンドルに取り付けて使用します。

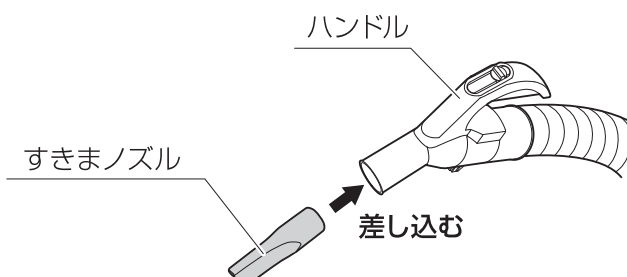
ノズルに毛取りブラシが取り付けられており、円を描くようにくると動かすことで、ペットの毛などを効率よく集めます。



■すきまノズルについて

ハンドルに取り付けて使用します。

床や階段のすみ、窓サッシのおそうじに使用してください。



注意

●すきまノズル、ハンディ毛取りノズルを床・壁・家具などに強く押し付けたりぶつけないでください。キズがついたり破損する原因になります。

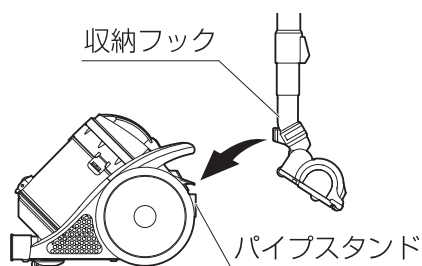
収納のしかた



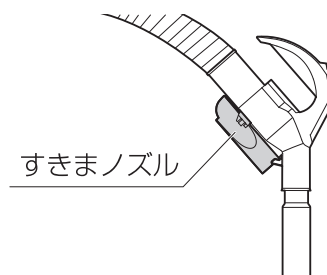
注意

●ご使用が終わったら電源コードはコード巻取りボタンを押して必ず本体に巻取ってください。小さいお子様などがコードで遊ぶと大変危険です。また電源プラグを誤って踏んだりするとケガの原因になります。

1 フロアヘッド側の収納フックを、パイプスタンドに差し込みます。

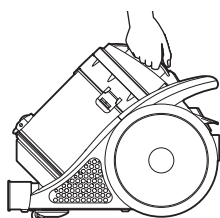


2 すきまノズルをハンドル裏に収納します。

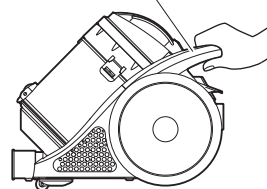


注意

●持ち運ぶ際には、必ずキャリーハンドルを持ってください。ダストカップを持って持ち運ばないでください。本体が落下し、破損・ケガをするおそれがあります。



キャリーハンドル

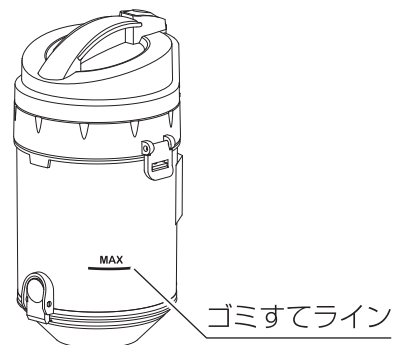


ゴミの捨てかた

■ダストカップからゴミを捨てる

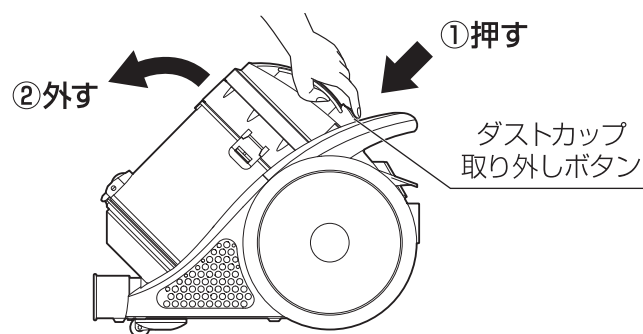
⚠ 注意

- ダストカップの「ゴミすてライン」以上ゴミをためないでください。吸引力が低下します。
- ゴミはこまめに捨ててください。
- 安全のために、ダストカップからゴミを捨てる際には、必ず電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- 本体運転中にダストカップを取り外さないでください。



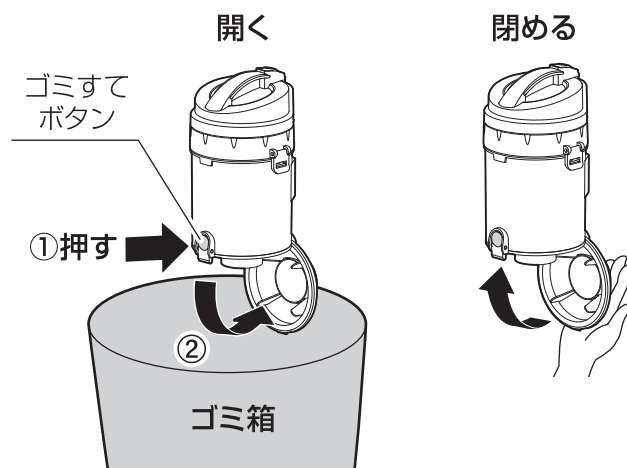
1 ダストカップを取り外す

ダストカップ取り外しボタンを押しながら、ダストカップを本体から取り外します。ボタンを押さずに無理に取り外さないでください。



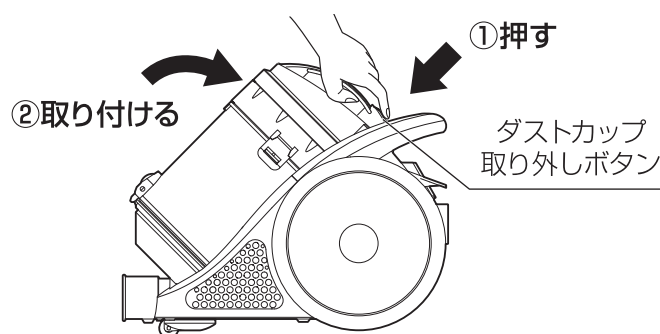
2 ゴミを捨てる

ダストカップのハンドル部分のゴミすてボタンを押します。底ぶたが開き、ゴミを落とすことができます。最後に手で底ぶたをしっかりと閉めてください。



3 ダストカップを本体に取り付ける

ダストカップ取り外しボタンを押しながら、ダストカップを本体に取り付けてください。



お手入れのしかた



警告

●お手入れの際には、電源プラグをコンセントから抜いてください。



注意

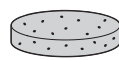
●ダストカップやフィルター類はこまめにお手入れをしてください。ほこりや汚れがたまったらそのまま使用すると、モーターが発熱し故障の原因になります。

特に、「排気フィルター」と「スポンジフィルター」は、最低3ヶ月に一度は表と裏のみぞにあるほこりや汚れをきれいに落としてください。

※3ヶ月は目安です。ゴミの種類や使用頻度によって、お手入れの頻度は異なります。



排気フィルター

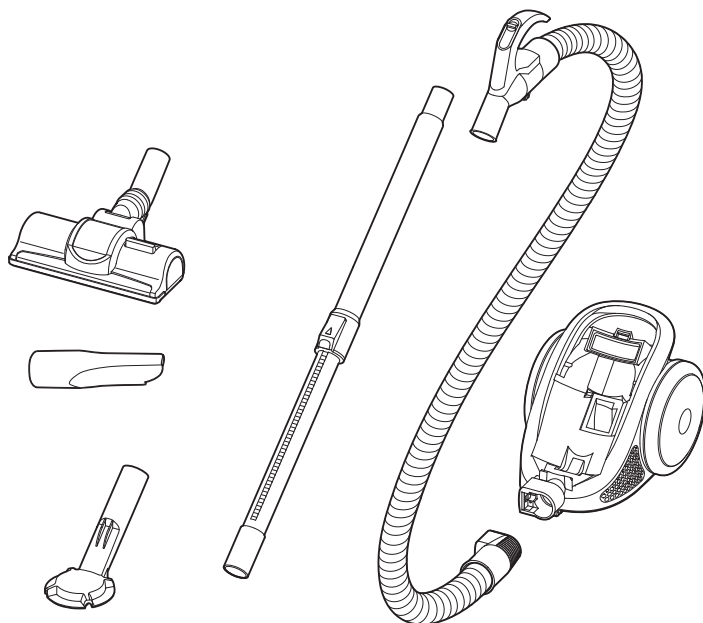


スポンジフィルター

■本体、付属品のお手入れ

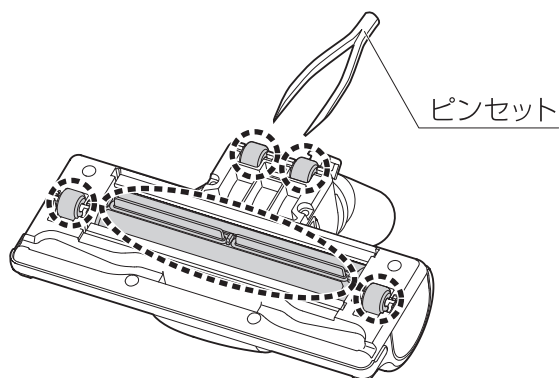
布に水または薄めた中性洗剤を含ませ、充分によく絞ってから拭ってください。

※お手入れにシンナー、アルコール、ベンジン、アルカリ性洗剤、漂白剤などを使用しないでください。変色、変形、変質、破損し、故障の原因になります。



■フロアヘッドのお手入れ

○部からみついた毛・糸くずはピンセット等で取り除いてください。表面は、布に水または薄めた中性洗剤を含ませ、充分によく絞ってから拭いてください。



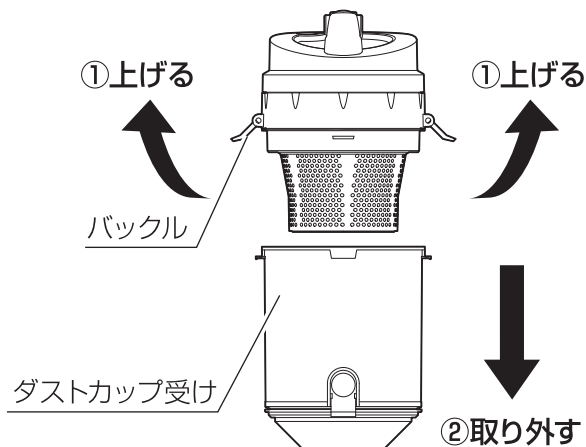
お手入れのしかた つづき②

■ダストカップ、フィルター類のお手入れ

1 ダストカップを本体から取り外す
(P10参照)

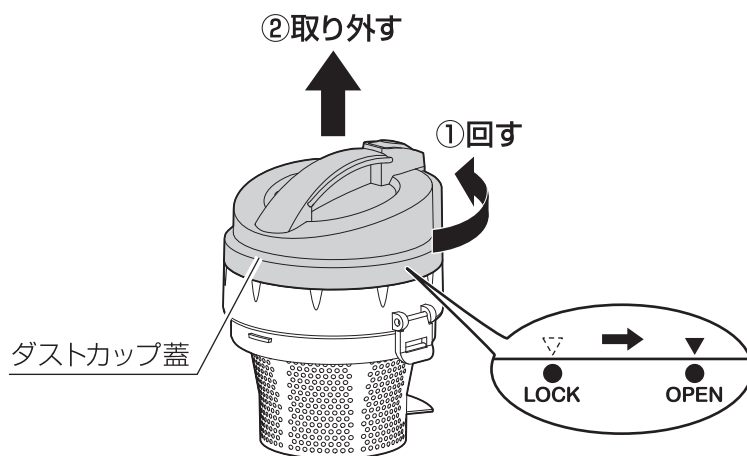
2 ダストカップ受けを取り外す

ダストカップ左右のバックルを
引き上げます。
ダストカップ受けを取り外します。



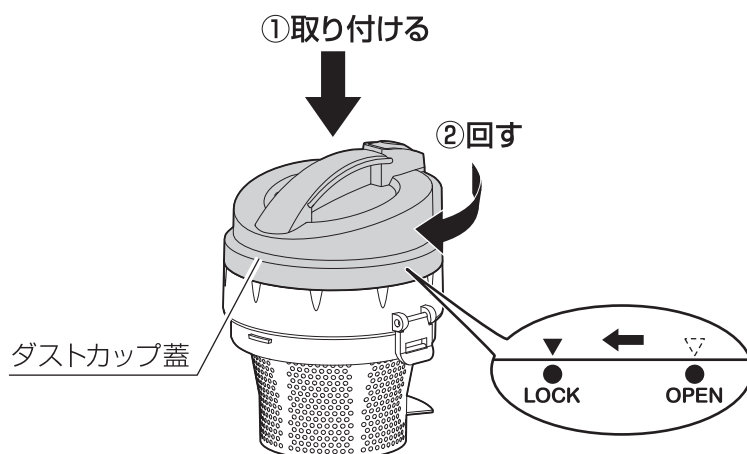
3 ダストカップ蓋を取り外す

ダストカップ蓋の「▼」が「●OPEN」の
位置にくるまで矢印の方向に回し取り
外します。



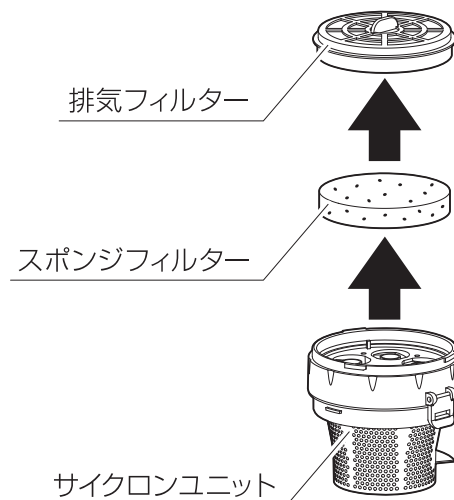
＜ダストカップ蓋を取り付ける場合＞

ダストカップ蓋の「▼」を「●OPEN」の
位置に合わせ取り付け、「▼」が
「●LOCK」の位置にくるまで矢印の
方向に回し取り付けます。



お手入れのしかた つづき③

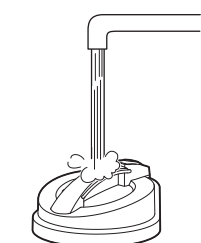
4 フィルター類を取り外す



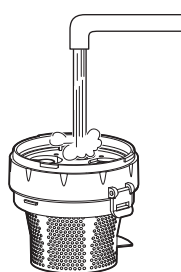
5 ゴミを取り除く

各部品を軽くたたきながら、ゴミを落とします。

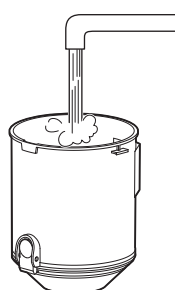
6 水洗いをする



ダストカップ蓋

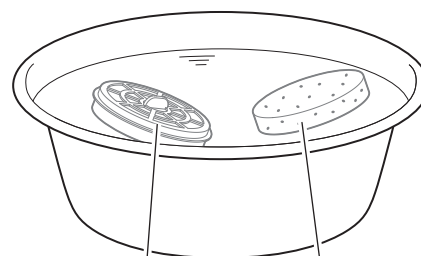


サイクロン
ユニット



ダストカップ
受け

流水で汚れを落としてください。



排気フィルター

スポンジ
フィルター

水を入れた容器にフィルターを
浸け、ゆすいで汚れを落として
ください。

7 本体に取り付ける

十分に各部品を乾燥させてから、逆の手順で本体に取り付けます。



注意

- 表面が乾いていても内部に水分が残っている場合があります。
風通しが良い場所で十分に乾燥させてください。
乾燥させないで使用すると、水分がモーターに付着し、故障の原因になります。

故障かな?と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、下記の点を確認してください。

状 態	考えられる原因	処 置	参照ページ
運転しない	●コンセントに電源プラグが正しく接続されていない	●電源プラグをしっかりと再接続し、電源スイッチを再度入れる	P7参照
	●フィルター類にゴミやホコリがたまっている	●保護装置の説明にしたがい処置をする	P14参照
吸引力が弱い	●フロアヘッド、延長パイプ、ノズルが詰まっている ●ダストカップの「ゴミすてライン」以上にゴミがある ●フィルター類にゴミやホコリがたまっている ●ダストカップが本体ときちんと勘合していない	●中を点検し、詰まっているものを取り除く ●ダストカップのゴミを捨てる ●フィルターのお手入れをする ●一度本体からダストカップを外し、フタの状態を確認する	P10、11、12、13参照
運転音が大きくなった	●フィルターの汚れがひどい ●吸込口やノズルに大きなゴミが詰まっている	詰まっているゴミを取り除く	
電源コードが全て巻取りきれない	●巻取りの状態が曲がっている ●一カ所に片寄っている	電源コードを2mほど引き出し、再度巻取りボタンを押して巻取りをする	P7参照
電源コードが引き出せない	●巻取りの状態が曲がっている ●一カ所に片寄っている	巻取りボタンを押しながら、少しずつの長さで巻取りと引き出しを交互に行う ※無理に引っ張らないでください。	

〔保護装置について〕

フィルターやホースが目詰まりした状態で使用し続けるとモーターの過熱防止のため保護装置が働き、電源を入れても一時的に電源が入らなくなります。

<処置の仕方>

- 1.本体の電源を切ったあと、電源プラグをコンセントから抜く。
 - 2.ダストカップのゴミを捨て、フィルター類をお手入れする。(取扱説明書P10～P13参照)
 - 3.フロアヘッド、延長パイプ、ホースなどが詰まっていないか確認する。
 - 4.涼しい場所におく。
- 約1時間後、保護装置が解除され再び使用できます。

それでも解決できないときは

- ご購入の販売店、またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

仕様

電 源	AC100V(50Hz/60Hz共通)	質 量	約4.9kg(フロアヘッド、延長パイプ、ホース含む)
消 費 電 力	1000W	本体寸法	幅約220×奥行約304×高さ約256mm
吸込仕事率	170W		
集 塵 容 積	0.5L	コード長	4.5m

セット内容 掃除機本体 フロアヘッド(1個) すきまノズル(1個) ハンディ毛取りノズル(1個) 延長パイプ(1本) ホース(1本) 排気フィルター/スポンジフィルター(本体セット済み1個) 取扱説明書(本書)

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

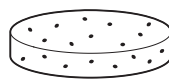
MADE IN CHINA

■ 消耗部品について

排気フィルター、スポンジフィルターは消耗品です。
お手入れしても汚れが取れなくなった場合、交換してください。
消耗部品のお求めは、当社アイリスコールまでご連絡ください。



排気フィルター



スポンジフィルター

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■保証書

お買上げの際に、所定の事項が記入されている保証書を販売店より必ずお受け取りください。
保証書がありませんと、無料修理保証期間中でも代金を請求される場合がありますので、大切に保管してください。

■保証期間

保証期間は、お買上げ日より1年間です。
無料修理保証期間中に故障が起きた場合は、保証書をご提示の上、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
詳しくは、保証書をご覧ください。

■保証期間経過後の修理

お求めの販売店にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料にて修理致します。

■補修用性能部品の保有期間について

弊社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、最低5年間保有しています。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービスについてご不明な点は

お買上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

アイリスオーヤマ株式会社 お問い合わせはお気軽にアイリスコールに
〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号 **アイリスコール** 受付時間 9:00～17:00
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/> **0120-211-299**

P130412-LIY